

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 黒野貞夫
 幹事 山本眞輔
 会報委員長 秋山茂則

行動に信念を 信念は行動に

BELIEVE IN WHAT YOU DO

DO WHAT YOU BELIEVE IN

1993～94年度 RI会長 ロバート・R・バース

No. 44

第574回例会 平成6年6月14日(火)晴

◇ “我等の生業”

◇ ビジター紹介 1名

◇ 出席報告

会 員 68名 出 席 53名

出席率 77.94%

前 回 6月7日(修正出席率) 100%

◇ お誕生日祝福

魚津君(6/11)、鷺谷夫人(6/19)

◇ ニコボックス

秋山 茂則君 西尾さん嵯峨にて大変お世話になりました。

釜谷 健一君、吉田 節美君 晴れました。

大谷 和雄君 第85回ロータリー国際大会に出席してきました。

山本 眞輔君 明日15日(水)から19日(日)まで第4回NSG彫刻展を愛知県美術館で行います。御高覧下さい。

◇ 山本幹事報告

1. 次回例会は夜間例会で午後6時より松楓閣にて開催いたしますので昼間の例会はございません。

2. ロータリーの友7月号がきておりますので、お帰りにお持ち下さい。

◇ 鈴木副会長挨拶

6月は愈々所得税の特別減税が行われます。これは、我が国の当面の経済状況等を踏まえた景気対策の一つとして実施されるものです。低迷している景気を刺激する為の措置ですから、特別減税分は国内消費に向けられることを政府は期待しているところです。

然し、最近の給与と所得の支給方法に限って申せば、手取額は銀行振込によって支給している事業所が増えております。

貯蓄心がもともと高いと云われる日本人の特質から、一旦預金された金を引き出すことには消極的になり勝ちのようです。

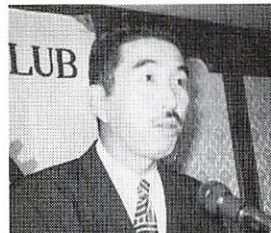
特別減税分が貯蓄に廻されてしまつては、今

回の減税目的が達成されません。せめて、特別減税分だけは現金で支給して、亭主のポケットマネーとするなり、ご家族で相談して仲良く楽しむ消費に向けられるよう、事業主は特別のご配慮をされては如何でしょうか。

◇ 講 演

“一度は船旅 アラスカ氷河クルーズ”

会員 伊豫田博明君



長年おつきあいのあるA夫妻の銀婚式。アラスカを望むクルーズバカンスを夢見心地で提案した。北極の大自然、イタリアンシェフの美味しい

料理、ラスヴェガスなみのショー、カジノ。1番の興味はパリのボンピドゥーセンター、日本の関西新空港で有名なレンゾ・ピアノ氏設計の7万トンの客船、その名もリーガルプリンセス号……。インサイド・パッセージやグレイシャーベイの氷河見物を中心とした7日間。

船内にはインフォメーションをのせた新聞が配布されているが、マスコミにありがちな誇大表現がない。本当に鯨が肉眼で見え、いるかと遊べるのである。自然が日常なのだ。だから、フィッシングをして魚が釣れてもすぐ海に戻す。自然保護も徹底しており、それが当然で日常なのである。

徹底といえば、船内でのサービスもまた然り。

レストランでは、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいように、しかも1度に800人もの食事ができ、毎日変わる世界の料理。さらに驚くのは毎日変わるメニューに合わせたテーブルウェアやウェイターのコスチューム。

とても同じ場所で食事しているとは思えない演出。

またクルージングにはつきものの華やかなショー、夜を徹してのカジノ。多くの人がドレス・アップし、ヨーロッパの社交場といった雰囲気だ。

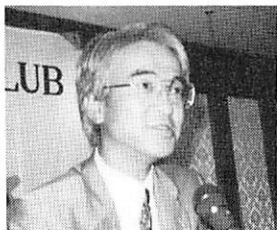
私も教えてもらったばかりのブラックジャックで、夜が明けるのも忘れて楽しんだ。そんな私の寝起きを襲うのはいつも大きな足音である。というのも直上デッキにジョギングトラックがあり、ジョギングを欠かさない老夫婦の、健康的で仲睦まじい足音である。不健康な私にとっては、頭と耳に重く響く足音であったが、同行のA夫妻はすっかり刺激され、やはり毎朝ジョギングを始めてしまった。おせっかいにも船内には何でもあるのだ。ウェア、シューズ、ソックスすべてそろえて、A夫妻はこの旅行で健康も手に入れてしまったようだ。

私はといえば、大氷原で拾った小さな石ころ。ブラックジャックのスリルとおもしろさ。そして何よりこの上なく本物と思えるぜいたく。

しかし、バンクーバーで陸にあがり、地に足を着けた時の安心感はそれ以上に忘れられず、クルージングバカンスの思い出は、最初で最後のものだと思信した私である。

“健康、安心、生きがいのまちづくり”

会員 津牧 孝臣君



平成元年6月、厚生省は本格的な高齢化社会に対応するため「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業(ウェル・エイジング・コミュニティ、通称WAC)」を提唱し、法的な整備を図った。内容は①有料老人ホーム②疾病予防運動センター③高齢者総合福祉センター④在宅介護サービスセンターの4施設を軸に保健・医療・福祉が総合的に機能するまちづくりを目指すものである。

日本生命と聖隷福祉事業団は、それぞれの創業100年、60年を記念して平成元年7月にニッセイ聖隷福祉事業団を設立し、この事業を实践するため奈良県西大和の住宅地上記施設を開設した(平成4年4月)。「奈良ニッセイエデンの園」の名称を持ち、全国初のWAC認定を受けている。①の入居者は、338戸467名に達し平均72才、男女比37対63、夫婦占率35%の構成となっている。ホームは終身利用権方式で一時金平均4700万円原則満60才以上の健康な方なら入居できる。②はアスレチック

クラブでプールやマシジムがある。③は生活全般の相談や情報提供、文化・教養・趣味・娯楽等の講演、講座、鑑賞会が運営されている。②とともに入居者以外の地域住民の参加が多い。④は介護が必要な老人の生活支援のため、各種サービスを提供している。他に診療所と老人保健施設もあり、健康管理や看護・介助・リハビリ訓練も行っている。

2つ目の計画は千葉県松戸市に平成8年度開設予定であり、奈良と同様の事業展開を考えている(松戸しあわせの村構想)。

当事業のポイントは、ホーム入居者専用の隔離、閉鎖的な施設運営とせずに、地域との交流を前提としたまちづくりであり、先駆的な高齢者総合生活サービス施設の創造と具体運営にある。

◇他クラブ訪問報告(6月7日分)

杉山 貞夫君

6/2豊橋RCへ行って参りました。豊橋は会員数130名程で、当日は70~80%の出席率で100名くらいでした。“豊橋はどちらのクラブですか?”“名古屋の千種からです。”と言ったら隣の方が名刺をだされました。銀行会長で、私も名刺をだしました。“あっ君か”と、テーブルの人に紹介されました。隣は病院長でした。そしたら建築業の方がすぐ名刺を持って、“今度の建築はぜひうちで”と。向かいは空調の方で、“今度、空調はぜひうちで”と。米山奨学生の方がポーカーとしていました。今までラブレターをもらったことはないのですが、隣の病院長が、ラブレターをくれ、ぜひご来訪の折に来て下さい、お待ち申し上げております、と書かれてました。今回参加して大変友愛が深まりました。1年豊橋へ3ヶ所、4ヶ所仕事をしながら一度も例会にでなかったことを反省しました。それとともにサインの空しさを感じました。例会にできるだけ出るべきだと強く感じたものですから、これを報告に変えさせていただきます。

◇例会変更のお知らせ

名古屋名駅RC 6/29(水)夜間例会の為、名鉄ニューグランドホテルにて17時半より

名古屋名北RC 6/29(水)I.D.M.の為、名古屋不二パークホテルにて17時半より

◇例会休会のお知らせ

(ビジター受付は致しません。)

6月30日(木) 名古屋西RC

◇次回例会(6月21日)

夜間例会(松楓閣にて18時より)

◇次々回例会(6月28日)

友愛の日(立食)